

説明的な文章における確かな読みの力を育てる第2学年国語科学習

～知識構成型ジグソー法の学習材開発を通して～

飯塚市立片島小学校 教諭 渡邊貴治

主題・副主題の意味

説明的な文章における 確かな読みの力

順序を考えながら内容の大体を捉えたことをもとに、文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、分かったことや考えたことを表現する力

学習材開発を通して

説明的な文章における学習で、指導する読みの視点を明確にしたエキスパート資料を製作・活用すること

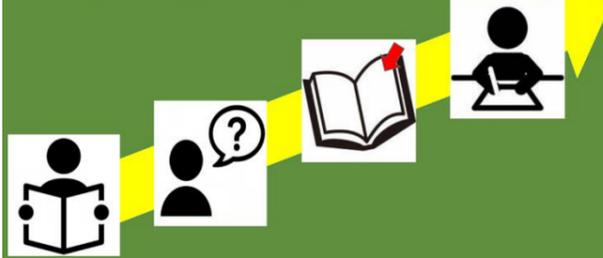
知識構成型ジグソー法

丸読 (学習前の考え)	課題について自分の考えをもつ。
エキスパート活動	エキスパート班での対話を通して課題について考える。
ジグソー活動	エキスパート班で考えたことを持ち寄り、ジグソー班で課題に対する答えを作り上げる。
クロストーク	ジグソー活動で作った答えを学級全体で交流する。
ポスト読 (学習後の考え)	課題について、最後にもう一度自分で答えを出す。

研究の目標

第2学年国語科学習において、説明的な文章における確かな読みの力を育てるために、読みの視点を明確にした知識構成型ジグソー法の学習材開発の在り方を明らかにする。

説明的な文章における 確かな読みの力をつけた子ども



仮説検証のための手立て

- 【手立て1】 児童が考えたいと思う課題の設定
- 【手立て2】 読みの視点を明確にしたエキスパート資料の開発
- 【手立て3】 児童が学習の成果を感じ取ることができる課題シートの工夫

研究の実際

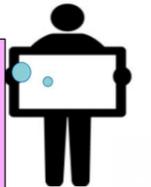
検証授業 【手立て1】 課題の設定

課題 だいちゃん、中川さんがどんな工夫をしていると考えていますか。



学習内容

【成果】 「自分たちと同じ考えをした子がいる」という課題意識の高まり



どうぶつのひみつをまぐろが
かだい
だいちゃん、中川さんが
どんな工夫をしていると考えていますか。

検証授業2 【手立て1】 課題の設定

課題 だいちゃんのために、レンコンのあなのやくわりをまとめよう。



単元を通して学んできた読みの視点を振り返る



あなのやくわりをまとめよう
かだい
だいちゃんのために、レンコンの
あなのやくわりをまとめよう

検証授業 【手立て2】 エキスパート資料の工夫



【課題】 課題提示の工夫 資料の内容の精選

読みの視点に気づかせる

検証授業2 【手立て2】 エキスパート資料の工夫



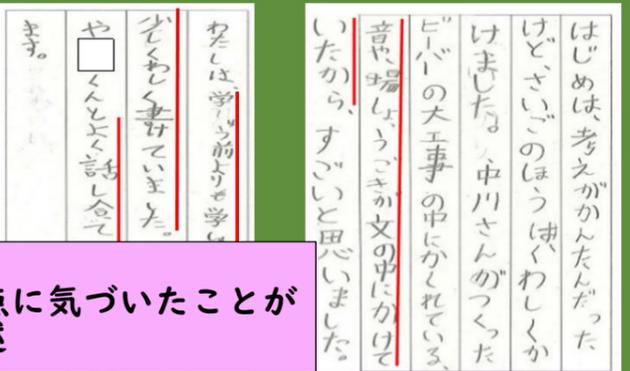
文章に対して、絵や写真があると分かりやすい

理由は、文末を「から」で短くまとめる

役割は、文末を「ためのあな」で短くまとめる

検証授業 【手立て3】 課題シートの工夫

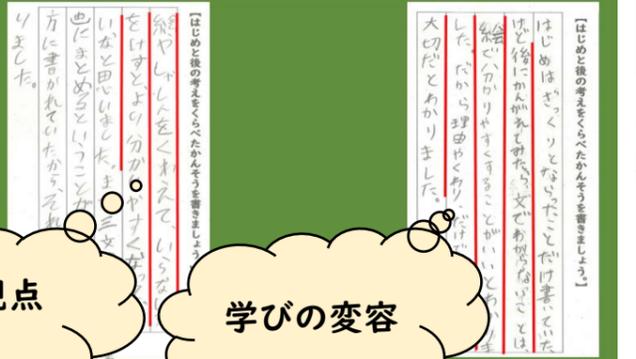
単元後



【成果】 読みの視点に気づいたことが分かる記述

検証授業2 【手立て3】 課題シートの工夫

単元後



読みの視点の気づき

学びの変容

成果と課題

成果

- 第3者が何を考えているのかと課題設定したことで、児童に課題を解く必然性を与えることができた。
- 児童一人ひとりに課題シートを記述させたことで、児童に学びの高まりを感じ取らせることができた。
- 対話記録を分析することで、児童の思考の変容のきっかけを見つけることができた。

課題

- エキスパート資料については、読みの視点に気づかせるためにも、情報量を少なくするなど、資料の精選が必要である。
- ジグソー活動で話し合う視点をはっきりさせる必要がある。あわせて、発言の少ない児童や文章表現が苦手の児童もいるので、自己表現の方法について日常から指導していく。